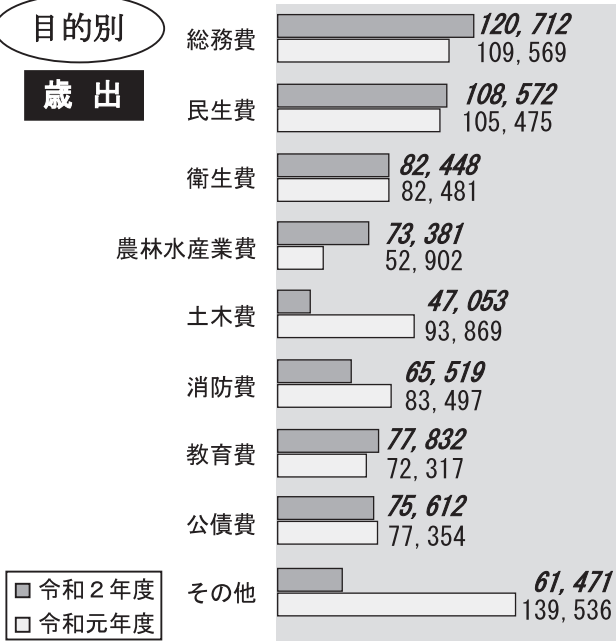


# 令和2年度 わが村 の

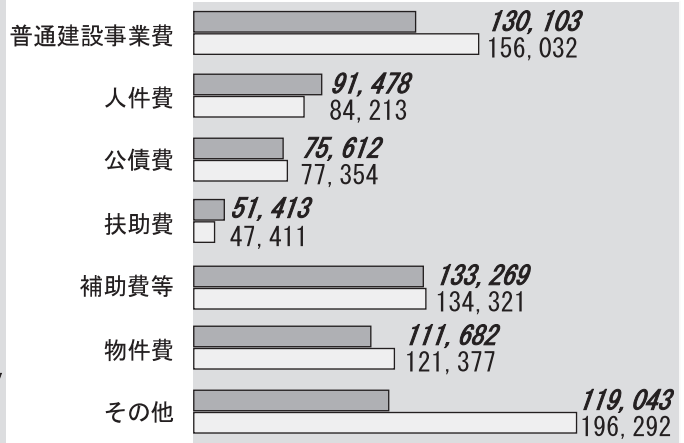
## 目的別

## 歳出



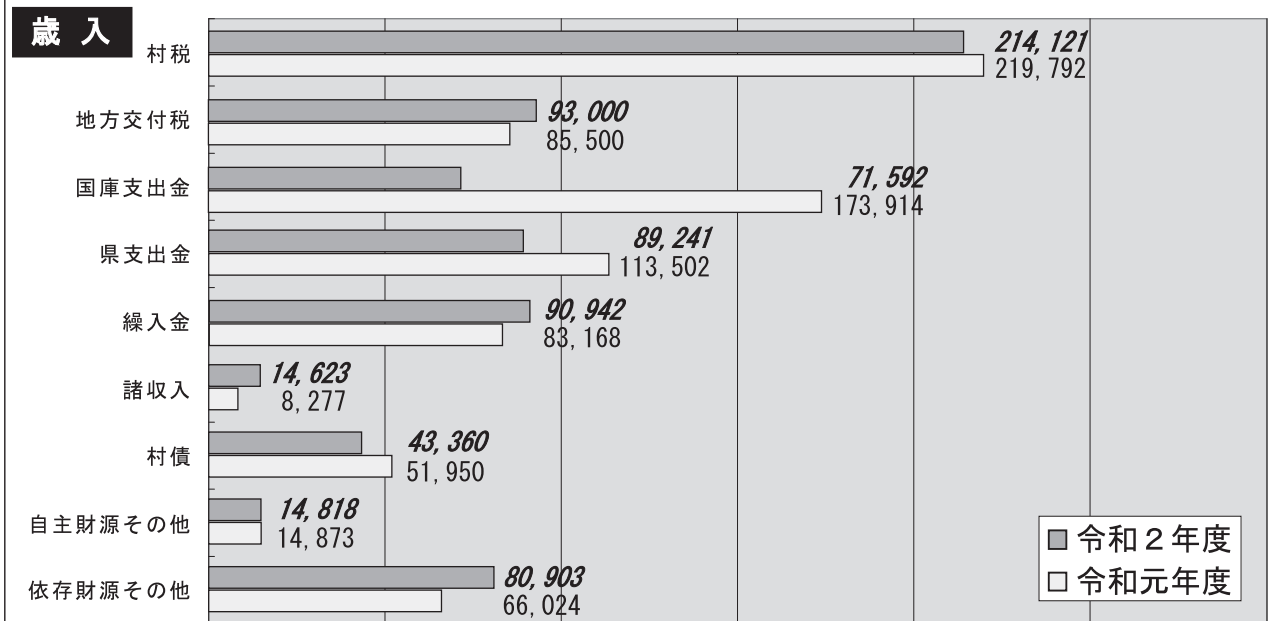
教育費、土木費等の目的別経費を人件費、物件費等の性質別経費に分類し直すとこのようになります。

(単位：万円)



■ 令和2年度  
□ 令和元年度

## 歳入



■ 令和2年度  
□ 令和元年度

2月28日から3月10日まで、12日間の会期日程で開催された、令和2年2月東通村議会第1回定例会で、令和2年度一般会計予算及び各特別会計予算が議決されました。

一般会計は、歳入歳出それぞれ7億1,600万円、前年度との比較では10億4,400万円(12.8%)の減となりました。

歳入は、主に東北電力(株)東通原子力発電所に伴う固定資産税が減収となったことにより、村税収入が2億4,121万円(前年比△2.6%)となり、自主財源の占める割合が47.0%となっております。

歳出は、自主財源の減収等の影響を受けながらも、「みんなで創ろう住みよい村づくり」の理念のもと、村政の重要施策について行政改革に努めながら取り組んでまいります。

義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は、2億1,850.3万円(構成比30.7%)、その他消費的経費(維持補修費、補助費、物件費、繰入金等)は、3億6,399.4万円(構成比51.1%)、投資的経費は、尻屋地区多目的集会施設整備事業、高規格救急車整備事業のほか、漁港整備、道路補修整備、学校給食関連備品整備等、1億1,030万円(構成比18.2%)となっております。